

## 目次

### (10) 製品関連記事

- ▽「段差に強い車いす 『中輪』 取り付け6輪に」

### (11) その他、各種関連記事

- ▽「富士通 SSL、聴覚障害者向けの会議参加ソフトを開発  
発言をパソコン画面に高速表示」
- ▽「優しいネジきりキャップ／GABA インターナショナルグループ」
- ▽「競技場内 バリアフリー化を 東京五輪・パラリンピック 予定地調査」

### (12) 新刊紹介

- ▽『発達障害の子どもが伸びるほめ方・しかり方・言葉かけ  
毎日の生活に取り入れるだけで子どもは変わる』
- ▽『アスペルガー・ADHD<発達障害>を飲んで食べて改善、落ち着きと集中力を  
取り戻す食事 160 脳が元気づくおいしいレシピ』
- ▽『手のひらから広がる未来 ヘレン・ケラーになった女子大生』

---

### (10) 製品関連記事

- ▼「段差に強い車いす 『中輪』 取り付け6輪に」

機械部品などを手がける栄精機製作所は芝浦工業大学と協力し、段差に強い6輪の車いすの試作品を開発した。2組の前輪をレバーで操作し、段差を乗り越える仕組み。

試作品では通常の前後輪に加え、前輪部後方に「中輪」を取り付けた。平坦な場所では中輪で走り、前輪はやや浮いた状態。段差ではまず前輪を地面に乗せ、車体横にあるレバーを倒して中輪で段差上に乗り上げる。プロジェクトに参加した芝浦工大の学生が伸縮しながら進むシャクトリムシから着想

して考案し、実用的な機構は栄精機が実現した。今回開発した車いすでは常に車輪が地面に接触した状態になるため、転倒を防ぐ効果が期待される。

栄精機はこの試作品をもとに、既存の車いすを6輪に改造できるレバーと車輪部品を開発する。

(日経MJ 4月17日9面より抜粋)

---

## (11) その他、各種関連記事

### ▼「富士通 SSL、聴覚障害者向けの会議参加ソフトを開発 発言をパソコン画面に高速表示」

富士通と富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（富士通 SSL）は14日、聴覚障害者が簡単に会議や授業に参加できるソフトウェア「ライブトーク」を開発したと発表した。新製品はマイクを使って、発話者の発言を認識し、すぐにパソコン画面に表示できる。5月中旬から企業や学校向けに発売する。

これまで聴覚障害者が会議に参加する場合、筆記通訳が必要で、さらに議論の内容をリアルタイムに把握することが難しかった。今回、富士通 SSLは聴覚障害者でも円滑に双方向でコミュニケーションができるソフトを開発した。

新製品は、複数人が同時に発言した場合でも、平行処理でパソコン画面に文章化できる。発言に間違いがあれば修正も可能。同じ無線 LAN で接続されているパソコンに対し、文章を転送できる。

まずパソコンとタブレット端末向けを用意したが、スマートフォンへの対応も検討している。

国内には聴覚障害者が約30万人いるとされ、職場でのコミュニケーションが難しく転職率も高いという。

[http://newsbiz.yahoo.co.jp/detail?a=20150414-00000506-biz\\_san-nb](http://newsbiz.yahoo.co.jp/detail?a=20150414-00000506-biz_san-nb)

### ▼「優しいネジきりキャップ／GABA インターナショナルグループ」

海外に朝と晩に使う二本の練り歯磨きをセットにしたパッケージがある。朝用は「アロナール (aronal)」、夜用は「エルメックス (elmex)」とブランド名を記したチューブ入り。

エルメックスのチューブのキャップを取り外すと面白い仕組みが現れた。6つの歯を備えた歯車のような小さな頭が口を塞いでいた。取り外したキャッ

プの頭に、歯車と対をなす凹面を刻んだ小さな穴がある。キャップを逆さにして歯車とかみあわせ左にひねると、口をふさいでいた頭がねじ切れ練り歯磨きが出てきた。

液体や、ペースト状の内容物をチューブに封入した小型のパッケージは中身が飛び出ないように、そして衛生にも配慮してアルミのシールで口をふさいでいるものが多い。

ただそのシールが小さすぎたり、あまりにも頑固に密着していたりして、爪先で剥がすのがひと苦労だ。

シールの端が飛び出ていたつまみやすくなった改良型のデザインもある。しかし、このネジ切り式のほうが指先に優しく、確実に開けることができる。

コストも重要だが、つま先に優しく、外しやすいシール材のデザインには、まだまだ開発の余地があることをエルメックスのキャップは示している。

(日経産業新聞 4月14日 15面より抜粋)

#### ▼「競技場内 バリアフリー化を 東京五輪・パラリンピック 予定地調査」

2020年の東京五輪・パラリンピック開催をきっかけに、競技場をもっとバリアフリーにしてほしいと望む声が上がっている。国際パラリンピック委員会（IPC）の水準に届かない会場予定地があるためだ。

国立競技場に隣接する東京体育館。障害者団体「DPI日本会議」は今年2月までに、現地でのバリアフリーの調査をした。

尺度にしたのは、IPCのガイドライン。東京体育館のメインアリーナについて同会議が調べてみたところ、固定席6030の内、車いす席は29で0.48%。IPCガイドラインは、前列の観客が立ち上がっても、視界が遮られないよう高低差を設けることなどを求める。ただ、同体育館では充分には確保されていなかったという。

東京五輪・パラリンピックの大会組織委員会・パラリンピック統括部長の中南久志さんは「既存の施設について、改装工事をして新しく車いす席を作るかといった判断は、会場の所有者がする。組織委員会としては『お願い』するしかない。現実的には、仮説の車いす席の設置になるだろう」と話す。

(朝日新聞 2015年4月15日 33面より抜粋)

▼『発達障害の子どもが伸びるほめ方・しかり方・言葉かけ  
毎日の生活に取り入れるだけで子どもは変わる』

発達障害の子どもの子育てに取り入れたい、子どもにやる気が芽生える「ほめ方・しかり方・言葉かけ」を、場面別にイラストを用いてわかりやすく紹介する。発達障害の基礎知識も掲載。

監修：塩川宏郷（しおかわ・ひろさと）

発行：河出書房新社

本体価格：1400 円（税別）

ISBN：978-4-309-24695-6

▼『アスペルガー・ADHD<発達障害>を飲んで食べて改善、落ち着きと集中力を  
取り戻す食事 160 脳が元気づくおいしいレシピ』

発達障害の子どもに特に摂取してほしい栄養素を含んだ主菜・副菜・汁もの・おやつレシピを紹介。率先して食べさせたい食事や食に関する問題点と対処法、発達障害がよくわかる医学知識も解説する。

監修：渡部芳徳（わたなべ・よしのり）野口律奈（のぐち・りつな）

発行：主婦の友インフォス情報社

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-07-298778-0

▼『手のひらから広がる未来 ヘレン・ケラーになった女子大生』

大学4年生の春、病気がもとで聴力と視力を失った著者。絶望して泣いてばかりいた少女は、どうやって一歩を踏み出し、大学に復学し「自分にも役割がある」「人の役に立ちたい」と思えるようになったか。壮絶な魂の軌跡。

著：荒美有紀（あら・みゆき）

発行：朝日新聞出版

本体価格：1200 円（税別）

ISBN：978-4-02-251162-1

---

（編集後記）

iPhone を使っています。先日ソフトウェアをアップデートしたら、絵文字の

種類と数が増えていました。

人の手や顔の絵文字は、それぞれ肌や髪の色が異なる 6 種類の絵文字から選択するようになり、家族を表す絵文字も、15 種類に増えました。また、国旗も追加されて、42 カ国になりました。iPhone を使用する人たちの様々な人種に配慮したと報道するメディアもあるようです。

活動の場が海外にも広がっている共用品推進機構としても、今後の課題となりそうです。(金丸 淳子)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>